

# HTML作成基本ルール

- まず、作業ホルダを作成する(DWでサイト指定)
- ! + TAB で基本のテンプレート作成 ( lang="en" は "ja"に変更)  
emmetの基本もマスターしよう。
- HEADタグはウェブページの情報、画面に表示される内容がBODYタグ
- 確認はリアルタイムプレビューで
- HTMLタグは開始タグと終了タグを持つ(終了タグが無いものもある)
- タグの中にタグを書いてもOK (入れ子構造)
- 開始タグ内に属性の設定で様々な機能を持ちます。
- pタグ：段落を表現します
- h1~h6タグ：見出しを表す (h1が1番大きい見出し)
- imgタグ：ページに画像を表示する SRC属性はファイルの場所を指定
- aタグ：リンクを貼る HREF属性にリンク先のURL(場所)を指定
- ulタグとliタグ：順番無しの箇条書きをつくる。  
ul>li\*個数で作成
- olタグとliタグ：順番付きの箇条書きをつくる。
- brタグ：改行 (終了タグは不要)
- コメントアウト：ブラウザに表示されないメモ書きができる
- 同じタグでもid属性とclass属性を使う事で区別ができる。
- 同じid名は1HTMLファイルにつき、1回のみ。  
class名は同じものを何回使ってもOK。
- divとspanによりコードにまとまりを作る
- divはブロックコンテンツ、spanはインラインコンテンツ
- sectionタグは節や章を表す、見出しタグを含むのが作法
- articleタグは記事を意味します。
- tableタグは表を作成する。trタグ(行)とthタグ tdタグ(列)をともなう。
- dlタグは用語を表すdtタグとその説明を表すddタグ要素をともなう記述型リスト